

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ルームわかな				公表日	令和 7 年 3 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	広く必要なスペースの時は机等の移動をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	1対1が必要な時は、職員の応援を呼ぶ。	安全性に考慮する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	安全を考慮して、カバーを付けたり、カバーを敷く。	身体の障害のあるこの場合、特性に応じた配慮を行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	掃除、整理はできています。子供たちの空間づくりは難しい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	5	静かな部屋がないので、仕切りをして部屋を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		常に話し合いをして改善を図っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からのメールや相談は話し合いをして改善を図っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		パートさんまでの意見を聞く	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第3者委員会を外部に設けていない。	相談支援事業所と話し合いをよくしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	話し合いをしています。	講習の機会を増やす	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに掲載。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	3	ニーズや課題を家族様、保育園、相談支援と話し合う。	家族様のニーズと課題が合わない。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3	支援の課題が一致しないことがある。	課題等を話し合う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	支援の中で、小さな出来事でも話し合う。	少しの課題でも意見を出し合う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	意見を出し合う。	神経質にならないように意見を言う。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	4	本人と家族様の意向とギャップを少しでも合うようにする。	本人と家族様の意向とギャップを少しでも合うように努力をする。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	児発管が作成して、結果報告。	皆で話し合う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3	色々な手段を工夫。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	4	個別指導塾と集団指導の組み合わせが難しい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		今日の予定、ちゅう事項は朝に伝達。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援の終わりで今日の出来事、気づきを話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個々の日報を毎日書いています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	家庭訪問は年1回はしています。	その都度、家族様とメール交換をしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		社会経験等の体験をして自立と自信を植え付ける支援をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	3	自己決定を考えるように、問いかけたりその様な行動するように促す。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議には自発言が出ています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	相談支援事業所とは頻りに連絡を取り、他の機関には相談事業所を通じて連携をとる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		家族様とは、メールのやり取り、学校とは毎月の利用予定の提出を行う。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	弟等が就学前の行っている子には、お迎えに行った時、お話をさせてもらっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	就労移行等と反しあう機会を設けている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6	支援センターとは関わりがありませんが、相談支援センター、区役所等とは、連携をとっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	地域の子供とは、公園等で関わりがあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	時々、参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送りの時、メールのやり取りをしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	家庭訪問等で情報提供している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約の時に重要事項説明書で説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		アセスメントシートの作成、家庭訪問をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画は作成しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	保護者同士の参加は難しい。兄弟参加は来られています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		その日に対応。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		ホームページに掲載。メールのやり取りをしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの部署に保管。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	4	丁寧に説明。絵を見ていただく。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	近くの小学校のお知らせなど掲示。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	職員には説明。家族様とうには説明がない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		防災訓練は年1回はしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約の時に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約の時に確認をしています。家族様から聞いています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	常々、話し合いをしています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	メール、送迎時にお知らせをしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事例を引き出し、話し合い、記録を残す。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		毎日の話し合いに、虐待防止法の話し合いもあります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束が必要な時は、話し合い、計画に入れます。		